

PCI トラブルシューティング提示症例は、透析例の石灰化の強い右冠動脈 #2 への PCI 治療戦略であった。実際は、ステントのデリバリーが術前に困難であることが予想できていたため、まずロータブレーターを使用してさらに 5 in 6 にてステント留置を行っていた。ロータブレーターは全ての施設で使用できないのが現状であり、バックアップの強いガイドングカテ、例えば、AL、Hockey を使い、ワイヤーは Glandslum 等の stiff wire を用いて pre および stenting を try し、それでも困難であれば 5 in 6 を用いるという意見が多数であった。